

声

みんなのひろば



荒松徳夫 (大山口)

今、大山山麓のブナの原生林は盛り上がる緑に包まれ最高の季節を迎えています。
 世界的観光カリスマで、現在スイスで活動している、山田桂一郎氏に尋ねた。
 あなたは大山山麓をどのように評価されますかと、ズバリ一言「世界一です。」と。山があって海が

大山山麓の可能性

あるところは他に有りませんと。私なりに解釈すれば、冬にスキーが出来て、夏に海水浴が出来る所です。大山はスキー国体を2回も開催しました。近くの日本海ではマグロを始め多くの魚介類が獲れます。味は世界一の太鼓判を押しせる物です。この一帯の果物野菜を始め農畜産物も当然ながら優秀

です、是非多くの人達に味わって、楽しんで戴きたいものです。
 現在は日本中が健康に良くない事を知りながら、酷暑と汚れた「空気」「水」「土」の中で仕方なく生活をしている状況では無いでしょうか？

今こそ清浄な「大山山麓」を広くお知らせし、困っている人達を温かく受け入れ、お年寄りが元気で、その上若者が定住し子供達に明るい声の響き渡る地域としたいものです。



二宮久子 (小竹)

「さあ、きょうもがんばろう！」昨日の疲れが残る身体に気合いを入れて、今日も夫と二人で、夏野菜の収穫へ。今の時期は、ナス・ピーマン・キュウリ・カボチャ・玉ねぎを栽培。9時、やっと荷作

私の毎日の農業

りを終え、みくりや市へ、米子へと車を走らせる。
 もう何年農業をやっているのだろう。なるべく農業は使わず、化成肥料は少なくすることに心がけているのだが、同じ年はない。な

かなか思ったようにはいかない。でも、みくりや市の仲間から頑張りと元気をもらい、なんとか動ける身体とお日様の光の中で仕事ができることに感謝。

我が家もご多分に漏れず後継者候補がいらない。私たちができなくなったらどうなることや。それが気がかりだ…。



かやの榎野節子 (御来屋2区)

大山町から車で走ること1000キロ余り。南相馬市は、地震・津波・原発の放射能と三重の被害に遭っています。私達は私立の保育園に給食の物資等を届けた後、ボランティア登録をして、写真の

福島に行きました

整理作業をしました。一枚一枚、丁寧に泥を拭いてアルバムに貼ります。子どもの笑顔、幸せそうな結婚式・・・無事だったろうかと考えてしまうと、あまりにも切ない作業で、みんな黙々と手を動か

していました。翌日は、「復興のひまわり大作戦」に参加。地元の方たちと一緒に100万本のひまわりの種を植えました。花言葉は「希望」です。

今こうして自然いっばいの我が町で普通に暮らせることの幸せを、改めて感じています。

あとがき

「今まで読んだらなかったけど、毎回読むようになったわ。」
 「議会だより、楽しみにしておけんあ。」
 と、個人的に連絡をいただいたり、見知らぬ方に声をかけていただいたりするようになりました。
 また、議会だよりに対して、議会事務局にご感想のお電話をいただくようにもなり、感謝の気持ちでいっぱいです。
 議会は2年で委員会の改選をするため、広報委員も改選をしましたが、前回と同じメンバーが再び選ばれました。
 残りの2年間も広報委員の力を合わせ、今以上に「読みやすく、読みたくなる議会だより」をめざしていきたいと思えます。

竹口

- 【発行責任者】
 議長 野口 俊明
- 【広報委員会】
 委員長 竹口 大紀
 副委員長 大森 正治
 委員 西山富三郎
 委員 池田 満正
 委員 杉谷 洋一
 委員 米本 隆記